

協働の まちづくり

ニュース

Vol. 16
2012.3 月号



「日向ひまわり国際文化交流会」



「100万人のキャンドルナイト～ひゅうがの灯り 2011～」



「高森文夫勉強会」



「第6回わんぱく相撲日向場所」

市民活動団体が活躍！！

上の写真は、今年度の「ひまわり基金事業助成事業」を活用して行われた市民活動の様子です。どの団体も「地域を元気にしたい」というそれぞれの思いを持って楽しく取り組んでいます。他にも多くの団体が日向市でまちづくり活動を行っています。このような市民の皆さんの活躍によって、日向市がより活気のあるまちへと変わっていきます。来年度も皆さんの活動を応援しています！



- P 2～3 特集／新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業
○モデル事業の期間延長 ○モデル3地区の動き
○東郷地区の動き
- P 4～6 協働へのアプローチ
○日向市ひまわりフォーラム ○財光寺農業小学校
○「協働のみちづくり事業」
- P 7 市民協働課掲示板／ひまわり日記(区長インタビュー「おらが村」)
- P 8 元気印！／『牧水の里のつつじ祭り実行委員会』

モデル事業の期間延長について

現在取り組んでいる「新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業」につきましては、当初、平成22年度と平成23年度の2年間で終了する予定でしたが、口蹄疫の影響により1年目に十分な取り組みができなかった事から、平成24年度までモデル事業の実施期間を延長する事になりました。

平成24年度は、細島・平岩・塩見の3地区のほか、新たに東郷地区でモデル事業の取り組みが始まります。また、市内の各地域におきましても「市民満足度」をキーワードに住民主体の地域づくりについて意見を出し合える場を作っていくことにしています。

◆細島地区の取り組み

【桜ヶ丘公園の復活を目指して】
かつては、桜の名所として地区内外の人たちから親しまれていた桜ヶ丘公園。現在は、周辺に竹が生い茂り、景観の妨げとなっています。桜ヶ丘公園の復活の第一弾として、去る1月29日に、竹伐採作業を行いました。当日は、約100名の協議会メンバー及び地区民の皆さんが参加し、竹伐採やその搬出に汗を流しました。協議会では今後も作業を継続し、地区の皆さんに親しまれる公園づくりを目指していきます。



▲公園清掃の第一弾、竹伐採の様子

◆平岩地区の取り組み

【平岩勝軍地蔵尊大祭への支援】
去る2月14日から16日までの3日間、平岩勝軍地蔵尊大祭が開催されました。平岩地区で昔から「お地藏さん」と呼ばれ親しまれている、平岩勝軍地蔵尊。平岩まちづくり協議会では、歴史ある祭りを盛り上げ、地域を元気にすることを目的に、平岩勝軍地蔵尊大祭への支援を行っています。



▲祭りで行われた「やぐら餅つき」の様子

◆「平岩ふれあい朝市」の様子

また、今年には祭りの2日目に、「第6回平岩ふれあい朝市」を同時開催するという新たな取り組みも出てきました。残念ながら雨で中止となりましたが、地域を盛り上げようという祭と協議会の互いの想いが、地域内での連携につながったのだと思います。平岩まちづくり協議会では住民の方々が元気で幸せに暮らせる地域づくりを目指します。



◆塩見地区の取り組み

【3月4日(日)塩見ウォーク開催】
今回は、「塩見歴史探訪」として開催します。コースは、農村婦人の家→栗尾神社→塩見城跡→熊野神社→婦人の家となっています。また、まち歩き案内人として、昨年6月に塩見地区でご講演いただいた特定非営利活動法人「まちづくり地域フォーラム・かこしま探検の会」東川隆太郎さんをお招きしています。

【公共施設の指定管理に向けて】
4月から塩見地区にある「農村交流館」「塩見農村公園」の管理運営を塩見まちづくり協議会が行うことになりました。

利用者が増えれば、自ずと交流が生まれてきます。施設をどう運営していくか、地域住民による施設の管理方法が問われるところでもありません。みんなで知恵を出し合って、柔軟な活用を図りながら地域活性化に繋げていく方針です。

【城山の本格的整備に向けて】
日向三城の一つとして築城され、日向史にも名を残す塩見城ですが、その城跡(城山)では、昔は相模大寺や料理を持ち寄って花見大会などが行われていたそうです。

これからも地域交流の場として、また、塩見のシンボルとして永続的に親しまれる場所であってほしいとの想いで、トイレの改修や桜の植栽などの整備を行っていきます。

東郷まちづくり協議会が 設立します！ ～これまでの経過と今後の予定～

◆東郷地区の現状

東郷町地域づくり協議会準備会では、9月に行った地区説明会では、意見を参考に、協議会設立に向けて話し合いを行ってまいりました。

また、12月には東郷地区の皆さんを対象にまちづくりについてのアンケート調査を行い、たくさんのお返事をいただきました。

アンケートの結果、約9割の方から「新しい組織が必要と感じている」との回答があり、「活動に参加したい」「できる範囲で協力したい」と考えている方が約8割と、多くの方が新しいまちづくりに関心を持っています。

また、小学生・中学生・高校生からも、将来の東郷地区が豊かで魅力のあるまちになるための提案が寄せられ、将来を担う子どもたちの意見も大いに参考にしながらまちづくり計画書の策定を行うことが大切だと感じました。

協議会の設立は5月末を予定しています。協議会の名称も「東郷まち



▲地区説明会の様子

～このよう現在の準備会の取り組み

このよう現在の準備会の取り組み状況を説明するため、2月から各区を回り、第2回地区説明会を開催してきました。今後はその説明会での意見等を踏まえて協議会の取り組みについて最終協議を行うことになっています。

東郷地区は面積が広く、これまでの3地区とはまた違った取り組みが予想されますが、地域の「絆」をつくり、住みよい安全安心なまちづくりについて地区住民みんなで考え、少しずつ取り組んでいきます。

東郷町まちづくりセミナー開催！ ～モデル3地区による講話～

去る2月15日に東郷公民館で、「東郷町まちづくりセミナー」が開催されました。(主催：東郷町地域づくり協議会準備会)

セミナーでは、細島・平岩・塩見地区のまちづくり協議会代表者の方々に講話をお願いしました。

講話では、各地区がモデル事業を導入した背景や設立までに協議したことをはじめ、設立してからの活動内容やモデル事業を導入したことによる地区の皆さんの気持ちの変化、今後の課題等が紹介されました。

特に、各協議会の会長さんが共通して話されていた、「まちづくりは2～3年では完成しない。10年、20年先を見据え、あせらず、楽しく活動することが大事である。」という言葉が印象的でした。

当日は、110名の東郷地区の皆さんが来場し、モデル地区の講話を熱心に聞き入っていました。

また、今年には祭りの2日目に、「第6回平岩ふれあい朝市」を同時開催するという新たな取り組みも出てきました。残念ながら雨で中止となりましたが、地域を盛り上げようという祭と協議会の互いの想いが、地域内での連携につながったのだと思います。平岩まちづくり協議会では住民の方々が元気で幸せに暮らせる地域づくりを目指します。



▲皆さん熱心に聞き入っていました

祝! 地域づくり総務大臣表彰 「団体表彰」受賞!



▲先生(スタッフ)の教えを熱心に聞く子どもたち

市内の小学5・6年生を参加対象とし、地域の方の協力を得ながら子どもたち自身で季節の野菜などを栽培することで、「食」と「農」と「いのち」について学ぶ財光寺農業小学校。これまでの活動が実を結び、この度、平成23年度地域づくり総務大臣表彰の団体表彰を受賞しました。財光寺農業小学校の取り組みは、「日向市市民まちづくり支援事業」の支援を受けて平成21年4月からスタートしました。

財光寺農業小学校では、耕作から収穫までのすべてを子どもたちが自分の責任で行うスタイルで活動しています。

登校日は毎月第1・3土曜日の午前中。土曜日に登校できない場合は、翌日の日曜日に登校します。責任を持って畑を管理してもらうために、2回続けての欠席は認められていませんが、いざ農業を始めると、登校日以外でも自分の畑の様子を見に来る子どもたちが数多くいます。



▲「タマネギ大作戦」のため、一生懸命収穫する子どもたち

この農業小学校は、子どもたちにとっては、「人としての成長の場」であり、一緒に活動している大人にとっては、「生きがいの場」になっています。ここでの経験が、子どもたちに少しでも役立つことを期待しています。

市では、このような市民の方々が主役となった活動が、今後ますます発展していけるように支援していきます。



▲パネル展・フリーマーケットの様子

男女共同参画啓発事業として実施している『日向ひまわりフォーラム』が、1月14日(土)、15日(日)の2日間、日向市文化交流センターで開催されました。

昨年に引き続き、市内で活動している市民活動団体のPRなど、会場ごとに様々な催しが行われました。今回は、日向市男女共同参画社会づくり推進ルームおよび日向市市民活動支援センターに登録する市民活動団体を中心となり、市民自らの企画によって実施されました。

【大ホール】
2日間にわたり、合計60団体のパネル展およびフリーマーケットが行われ、日頃の活動が紹介されました。今年は、各団体のパネル前に『ご意見箱』を設置し、来場者との意見交換及び参加した団体間の交流、ネットワークの強化に工夫を凝らしました。



▲事例発表会の様子

また、来場者のために、茶道裏千家淡交会日向支部の方による呈茶サービスや、日向木の芽会によるちびっこ木工教室も行われました。

【小ホール】
小ホール1日目は、子どもアニメ上映会のほか、市民活動団体の活動事例発表会(6団体)が行われました。

また、来場者のために、茶道裏千家淡交会日向支部の方による呈茶サービスや、日向木の芽会によるちびっこ木工教室も行われました。



▲呈茶を楽しむ子どもたち



▲講演会の様子

小ホール2日目には、男女共同参画講演会が実施されました。今回は、声優としてアニメ「サザエさん」の登場人物マスオさん役等で活躍されている増岡弘さんに「マスオ流男女共同参画のはなし」と題して講演していただきました。「サザエさん」の収録秘話などを交えながら終始ユーモラスな表現で語る増岡さんの講演に、来場者は楽しく聞き入っていました。

増岡さんは、「男女共同でも、健康でも、世の中の基本というのは、夫婦仲が良いことから始まる。また、人を愛するということは、愛し続ける努力のこと、失ってから初めて気づく幸せ(愛)では困る。いつも100点満点で生きる必要はない。いまある小さな幸せでも、それを感じて生きることが大切」と説いておられました。



▲バルーンアートの様子

市民が主体となったまちづくり。その担い手や手法は様々ですが、何ができるかを考えるよりも、自分ができる事(範囲)で行動することが前進につながります。

皆さんは「自分たちのまちがもっとこうならいいの」と思ったことはありませんか? まちづくりは身近なことだから誰でも始められます。皆さんも身近で出来ることに挑戦してみてくださいいかがでしょうか?

【交流広場】
交流広場(屋外)では、2日間にわたり、「うまいもの市」、「怪トラ市」に計17店舗が出店し、来場した市民の方に好評を博していました。

さらに屋外ステージでは、バンド演奏、バルーンアートが会場に花をそえました。

Q2. 別府区のユニークな取り組みを教えてください。

区長 ます、日向市の無形民俗文化財にも指定されている、「別府供養盆踊り」があります。これは250年も続いている伝統的な盆踊りです。8月14日の夜、供養踊り保存会のメンバーが白装束に編み笠をかぶり、初盆を迎える家を一軒一軒踊ってまわります。音頭と踊りと太鼓の3拍子がそろうと初めて

Q1. 別府区はどこなところですか？

区長 別府区は、市中心部から南に13km程行った、標高が30〜40mの大変眺めの良い高台にあります。人口約490人、区加入世帯数は147世帯となっています。石垣が積まれた屋敷が多く立ち並んでいるのが特徴です。

△多賀神社大祭での神楽の様子☆



Q3. 別府区でユニークな活動をしている人を教えてください。

区長 別府区では、「美々津古謡教室」を行っている人たちがいます。これは、美々津地区の伝統的な古謡を後世に残そうと、「美々津船おろし音頭愛好会」の人たちが平成22年に始めたものです。練習は月に2回水曜日に別府区公民館で行っています。メンバーは約20人で、他の区からも興味をもった人が数人参加されています。また、年に1度旅行に出かけ、メンバーで交流を深めています。



△敬老会の様子☆

Q1. 別府区は、各区の区長さんにインタビューをし、地元の魅力を語っていただくコーナーです。第3回目は、区長公民館長連合会副会長であり別府区・区長の甲斐康男さんに別府区の魅力を教えてくださいました。

Q2. 別府区は、各区の区長さんにインタビューをし、地元の魅力を語っていただくコーナーです。第3回目は、区長公民館長連合会副会長であり別府区・区長の甲斐康男さんに別府区の魅力を教えてくださいました。

Q3. 別府区でユニークな活動をしている人を教えてください。

区長 別府区では、「美々津古謡教室」を行っている人たちがいます。これは、美々津地区の伝統的な古謡を後世に残そうと、「美々津船おろし音頭愛好会」の人たちが平成22年に始めたものです。練習は月に2回水曜日に別府区公民館で行っています。メンバーは約20人で、他の区からも興味をもった人が数人参加されています。また、年に1度旅行に出かけ、メンバーで交流を深めています。

敬老の日には、70歳以上の人を対象に祝賀会を行います。地区の人たちにカラオケや舞踊など、趣味・特技を自由に披露してもらい、毎回とても盛り上がりです。また、紅白まんじゅうを全員に配ります。参加できなかった人にも家に届けます。

おらが村

区長インタビュー



今回インタビューに答えていただいた、別府区 甲斐康男区長♪♪

このコーナーは、各区の区長さんにインタビューをし、地元の魅力を語っていただくコーナーです。第3回目は、区長公民館長連合会副会長であり別府区・区長の甲斐康男さんに別府区の魅力を教えてくださいました。

良いものができます。音頭は楽譜がなく、250年もの間口伝えで伝わっているんですよ！

大きな祭りとしては、12月の第3日曜日に「多賀神社の大祭」が催されます。これは、五穀豊穡、家内安全、牛馬安全を祈願して行われます。この祭りの時に神社のしめ縄を取り替えますが、しめ縄は区の人たちが手作りで作ります。12班のうち2班ずつがペアになって祭りの準備を進めていきます。祭り前日にはもちを50kg近くもつき、紅白もちとお札を全家庭に配ります。当日は、まず還暦を迎えた人たちがお祓いしてもらい、その後には巫女達が神楽を舞います。そして、役員と還暦者によるもちまきが行われます。午後からは演芸大会が行われ、それは賑やかなお祭りですよ！

編集後記

▼昨年は東日本大震災や新燃岳の噴火などの災害があり、日向市全体としても沈んだ雰囲気になっていました。そのようななか、多くの市民活動団体の方が、「日向市を元気にしたい」という思いで活動に取り組みされました。この気持ちは、まちが好きたからこそ生まれるものであり、自分たちのまちを良くしていくための原動力になるのではないのでしょうか。子どもたちに「このまちが好き」と言ってもらえるようなまちにしていきたいですね。(う)

第7回まちづくり市民講座が開催されます！

日向市まちづくり100人委員会が主催する「第7回まちづくり市民講座」が下記のとおり開催されます。今回は、市民協働で「安全・安心」な日向市のまちづくりを進めていくことを大きなテーマとしています。皆さんお誘いあわせの上、是非お越しください！

- 日時 3月17日(土)午後1時から午後5時まで
- 場所 日向市中央公民館第4研修室
- 内容 「3.11の教訓と日向市の取り組み～東日本大震災の教訓に学ぶ～」
- 講師 宮崎地方気象台 地震津波防災官 甲斐禎朗氏
日向市 防災推進室長 水野重信氏

今、道路改良事業などの公共事業において、その目的や事業の手順(プロセス)を明らかにし、どんな効果が期待されるかなど、透明性の確保や説明責任を果たしていくことが求められています。

市では、住民の皆さんの声が、これまでの道路計画や事業施工において、必ずしも反映されていない事例もあったことから、沿線住民と市が協働して、道路整備に係る調査や計画づくりを行い、地域の活性化を目指す「協働のみちづくり事業」を進めています(所管：建設部 建設課)。

- #### ○ 協働のみちづくり事業の特徴
- ・ 住民の皆さんと情報の共有化を図り、使う側の立場に立って道づくりを考えます。
 - ・ 道路の線形や排水施設の整備など、整備方法について地元推進委員会と協議します。
 - ・ 用地買収や事業への協力など、円滑に進めていくため、協働して道づくりに取り組みます。
 - ・ 事業のスピードアップと事業効果の早期発現を図ります。

これまで、4つの路線で「協働のみちづくり事業」を行ってきましたが、今回は、塩見の新財市地区の「中山崎後線道路改良事業」の事例を紹介いたします。

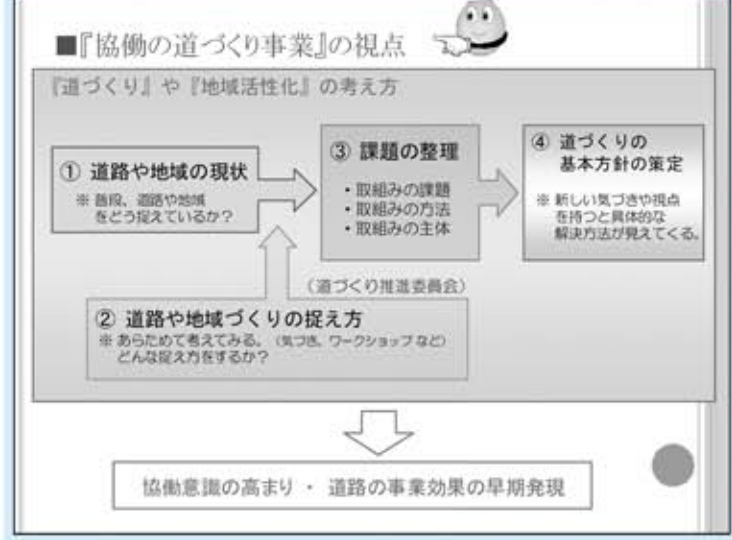
本路線は、平成19年度から事業を休止していましたが、道路改良事業の再開に対する要望書が提出され、地域の皆さんの理解が得られたことから、平成23年度に事業を再開することになりました。

昨年7月には、道路整備の推進母体となる「やまなり道づくり推進委員会」が組織され、以来、工事着手に向け、「道づくり」「地域づくり」の絶好の機会と捉え、「みんなで、地域を元気にするアイデアを考えよう!」をテーマに、3回のワークショップ(意見交換)を開催しました。

ワークショップには、延べ48名の地域住民の皆さんに参加していただき、身近な道路や地域に関する課題、そして、活性化のアイデアが出され、これをもとに、11月には協働による「中山崎後線道路整備基本構想」を策定し、現在、用地買収や道路工事を施工しています。

○ 基本構想のキャッチフレーズ：笑顔があふれる やまなり「快」道
～ひとにやさしく、まごころ込めて、みんながなごむ、利(り)用しやすいみちづくり～

○ 事業期間：H23～H25(予定) ○ 事業施工延長：L=250m



やまなり道づくり推進委員会の役員会の皆さん

鈴木会長 談(写真、右から二人目)
「ワークショップという手法に、最初は戸惑いましたが、議論の中で、身近な地域の課題が見えてきて良かったと思います。今後も、市と協働して道づくりと元気な地域づくりを推進していきたいと思っています。」

※注：「やまなり」とは地区の通称です。



東郷の自然をPR! 「牧水の里のつつじ祭り実行委員会」



△牧水公園のつつじ



△第1回実行委員会の様子



△寺原忠男
実行委員長

【連絡先】

事務局
日向市地域振興課
TEL
0982-69-3900
FAX
0982-69-2398

牧水公園には約3万本のつつじが植栽され、市内最大規模を誇っています。毎年4月には「牧水の里のつつじ祭り」が開催されます。地元の祭りを盛り上げようと、「牧水の里のつつじ祭り実行委員会」のメンバーは東郷地区の住民で構成され、商工会、東郷町区公民館連絡協議会、JA日向東郷支店や地域づくり団体、地域の有志で組織されています。実行委員はそれぞれイベント部会、ステージ部会、テント村部会に分かれ、部会ごとに知恵を出し合い祭りを盛り上げています。

今回は、第1回目の実行委員会を2月7日(火)に開催し、実行委員会の氣勢も上がっています。祭りの開催は4月22日(日)を予定しており、当日は地元団体による演芸や、花の苗配布、ガーデニング講習会など多くのイベントが行われる見込みです。また、テント村では地場製品の販売も行われます。

これからも、牧水の里のつつじ祭りを地域の力で盛り上げ、更にはまちづくりの活動が一層活性化するように頑張ります。

日向市ひまわり基金事業推進協議会 リーダー養成事業 受講生募集

日向市ひまわり基金事業推進協議会では、市内における公益的活動を担う人材の育成を目的に、日向市民活動団体リーダー養成事業の受講生を募集します。あなたもまちづくりについて学びませんか?

- 実施期間 平成24年6月～平成26年3月(2ヶ年)
- 応募資格 市内に在住または勤務している人、もしくは市内の市民活動団体に所属している人で、事業期間中講座に積極的に参加できる方。
- 募集人数 20名
- 受講費用 無料
- 受付期間 平成24年3月1日(木)～5月31日(木)
(定員になり次第、受付を終了させていただきます)
- 内容

- 【1年目】
- ①市内外において、各分野(地域づくり・福祉・観光・医療等)で市民活動を展開されている団体のリーダーによる講話
- ②市民活動の現場視察又は先進地視察研修
- ③受講生同士による意見交換

- 【2年目】
- ①1年目で学んだことの振り返り、ワークショップ
- ②年間テーマの決定・先進地視察研修
- ③研修報告会等の実施
- 申し込み先 日向市民協働課 TEL52-2111(内線6251)

NPO(市民活動団体)活動支援のための SNS講座を開催します。

日向市内で活動する市民活動団体の方を対象にしたSNS講座(日向会場)が、下記の日程で開催されます。

- 日時 平成24年3月15日(木)
午後7時から 午後8時30分
- 場所 日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム会議室
(日向市文化交流センター小ホール棟 2階)
- 講師 九州保健福祉大学 社会福祉学部
山内 利秋 准教授
- 定員 20名(定員になり次第、受付を終了させていただきます。)
- 主催 特定非営利活動法人のべおか市民力市場
(延岡市民協働まちづくりセンター指定管理者)
- 共催 日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム協議会
- 申込先 日向市民活動支援センター
TEL: 50-0300, 54-3001

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とはインターネット上で、コミュニケーションを円滑にする手段や場の提供、趣味や出身地、あるいは「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供するサービスのこと。

詳しくは「協働のまちづくり」ホームページをご覧ください!

日向市 協働のまちづくり

検索